

## 地域と学校が連携して取り組む事例をご紹介します

### 国見地区 登下校時の見守り活動

防犯ボランティアの方が、「おはよう」「おかえりなさい」と声をかけてくれます。



### 岩切地区 地域の防災活動

地域の方と学区内の危険箇所を確認しながら、防災マップを作っています。



### 生出地区 干し柿作り

まちづくり委員会をはじめ地域の色々な団体が干し柿作り等の体験活動を通して、子どもたちを育んでいます。



### 高森地区 花植えネットワーク

地域の方や保護者の方と一緒に花壇の植栽を行っています。



## いじめ等に関する相談窓口

お子さんに変わった様子が見られたり、いじめかな?と思ったら、遠慮なく学校に相談してください。地域でいじめを見たり聞いたりした際も、学校にお知らせください。

学校以外にも、いじめ等に関する相談窓口があります。  
下記以外の相談窓口については、仙台市ホームページをご覧ください。

教育委員会の窓口	仙台市教育相談室	☎ 022-214-0002	平日 9時~17時
	24時間いじめ相談専用電話	☎ 0120-81-2455	24時間 365日
	いじめ相談受付メール	✉ soudan@city.sendai.jp	
子供未来局の窓口	仙台市いじめ等相談支援室 S-KET(エスケット)	☎ 0120-303-836 ✉ s-ket@city.sendai.jp	月・水・木・土 10時~17時 火・金 12時~19時 ※日曜祝日、年末年始を除く

保護者のみなさん

地域のみなさんへ

# 社会全体で子どもたちを いじめから守りましょう



- いじめは、子どもの権利を侵害し、心身に重大な危険を生じさせるおそれがある **決して許されない行為** です。
- 子どもたちがいじめに悩み、苦しむことなく、健やかに成長することができるよう、市や学校、保護者、地域が連携して、いじめの防止等に取り組みましょう。

ご存知ですか?  
いじめの定義

## 「いやだ」「苦痛だ」と 感じるものはいじめです



からかいやいじり、遊びのつもりなど、行った側に悪気がなくても、受けた側が心身の苦痛を感じているものはいじめです。これには、インターネットを経由する行為(ネット掲示板やSNSでの誹謗中傷など)も含まれます。



いじめの捉え方が昔とは違うんだなあ...





子どもたちをいじめから守るための  
取り組みはたくさんあります。  
みなさんもできることから行動してみてください！

## 保護者のみなさんへ

## 地域のみなさんへ

### お子さんの教育 学校任せでいいの？

1  
うちの子が  
友達とトラブル  
なんて…  
学校の指導は  
どうなっ  
てるんだか。

2  
ちょっと  
待って！  
保護者として  
それでいいん  
ですか？

3  
仙台市いじめの防止等  
に関する条例第8条に、  
「保護者は、子の教育について  
第一義的責任を有する」  
と定められています。

4  
そうか、  
学校任せじゃ  
ダメなんだね。  
じゃあ保護者として  
どうしたら  
いいのかな？

お子さんが思いやりの気持ちを持ち、健やかに  
成長できるよう、次のことを心がけてください。

- 集団生活におけるルールやマナーなどが  
身につくよう、保護者が姿勢を示しましょう。
- どんな理由があっても暴力や暴言、無視、  
ネグレクトなどの虐待をしてはいけません。
- 偏見や差別など、あなた自身の言動が  
お子さんの成長に悪影響を与えていないか、  
考えてみましょう。
- 地域行事に積極的に協力し、お子さんと  
一緒に参加してみましょう。

資源回収  
手伝って



### 子どもたちとの交流 どうしたらいいの？

1  
来週の資源回収、  
子どもたちにも  
手伝ってほしいけど、  
どうしたら  
いいかなあ…

2  
地域における  
世代間交流は、  
子どもたちの  
自己有用感\*を高める  
絶好の機会ですよ！  
※コラム参照

3  
仙台市いじめの防止等に関する条  
例第9条に、「地域住民は、それぞ  
れの地域において児童生徒の健全な  
育成を図ることができる環境づく  
りに努める」と定められています。

4  
それって具体的に  
どうしたらいいの？  
何か新しいこと  
しないと  
いけないの？

地域行事などの交流を通じて、子どもたち一人  
ひとりが自分に自信を持ち、他者を思いやれる  
よう、健やかな成長を支えてください。

- 清掃やお祭りなどの行事で、子どもたちに  
役割を与え、その活動を褒めてあげましょう。  
ちょっとした一言が、子どもたちにとっては  
大人に認めてもらえたという気持ちになります。



- 登下校時に、近所の子どもたちに「いっ  
てらっしゃい」「おかえりなさい」などの声かけを  
しましょう。そのことで子どもたちが自分の  
居場所を感じるすることができます。

### コラム 自己有用感とは

人の役に立ち、人から感謝されたり認められたりすること  
を通して、自分の存在を肯定的に受け止める感情とされています。  
(参考：国立教育政策研究所)



もしも、お子さんのことで困ったことや悩みがあれば、一人で抱え込まずに、学校の  
先生やスクールカウンセラー、その他専門の相談窓口で遠慮なく相談してください。

いじめに関する主な相談窓口は④ページをご覧ください。



地域の実情を踏まえ、これまで行ってきた活動や行事の中で、無理なく可能な範囲で  
取り組んでみましょう。

地域と学校が連携した取組事例は④ページをご覧ください。